



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206



研修会場の京都市西京区役所に入る参加者

社協が福祉先進地視察

活動計画づくりイベント 京都・福西社協と実りある交流

志津南社会福祉協議会(上田恒章会長)は6月29日、京都市西京区福西社会福祉協議会を訪問し、同社協の活動内容や活動のベースとなっている活動指針の策定経過などを聞きました。

研修の目的は、福祉のまちづくり活動を進めるに当たり、先進地の活動実例を学び、志津南の地域福祉と住民福祉活動計画の策定に生かすことです。福西

志津南社会福祉協議会(上田恒章会長)は6月29日、京都市西京区福西社会福祉協議会を訪問し、同社協の活動内容や活動のベースとなっている活動指針の策定経過などを聞きました。

指して「ふれあい事業として配食・安否確認・布団の丸洗い地域交流事業として障害者(児)との交流事業 NPO設立による在宅介護事業の展開 健康すこやか学級による自立のための高齢者対策 ボランティアによる「ふれあい喫茶店」の経営広報と研修による社協の力量アップ

日食を観察しよう

46年ぶりという皆既日食が7月22日、日本で見られます。次は26年後ということですが、本州では部分日食となりますが、それでも午前9時45分ごろから12時20分ごろまでの間に太陽が最大約8割(11時すぎ)欠けます。

子ども会は、この日食観察会を次の要領で行います。ふるってご参加下さい。

日時 7月22日(水)午前9時30分～11時30分
雨天中止。

集合 志津南市民センター
観察場所 若草中央公園
日食の観察は日食グラスという

ブなどのほか、敬老会、独居世帯の見守りネットワークなどを実施しています。財源は賛助会員募集などにより確保しているということです。

研修後は、志津南地区社協メンバーから活発な質問が出され、30分以上も時間を延長し貴重な教訓を得る交流が生まれました。志津南地区では今年度地域福祉活動の基本となる「住民福祉活動計画」を策定する考えですが、草津市の他学区の方針と事業内容および今回の福西地区研修の

成果を生かして志津南地区に適した活動計画をみんなで議論して策定していきたいと考えています。

昨年度の地域福祉講演で開催の大津市「さくら福祉の会」の講演会でも同じような話があり、これら先進地は地域福祉のモデルになると考えられ、今回の視察研修は、今後の「安全・安心して暮らせる志津南地区のまちづくり」に生かされていくことと思われま。

用具を使いますが、間違った方法で観察すると目に良くないので1年生、3年生は保護者同伴での参加とさせて頂きます。なお、詳細については別途案内を配付させて頂きますのでご確認の上お申し込み下さい。

25日に夏まつり

第12回志津南ふれあい夏まつりは7月25日(土)10時から若草中央公園とシヨップモール若草周辺で開催します。

予定では午前10時からフリーマーケットをオープン、同時に地域内公園で啓発パレード、午後5時から模擬店はじめ、高穂

中学校吹奏楽によるたそがれコンサート、南笠飛翔楽隊の太鼓で夜の部をスタート、若草くのみ保育園児の遊戯や六地藏江州音頭同好会の音頭につて子ども会と大人が一体となつての盆踊り。最後に恒例のお楽しみ抽選会を行うことにしています。地域のみなさん多数の参加をお待ちしています。

なお、模擬店チケットの申し込みを忘れた方や追加購入したい方は7月14日から18日までの5日間、志津南市民センターでチケット販売をいたします。午前9時から午後4時までの間にご購入ください。
(夏まつり実行委員会)



ニュースポーツ大会に200人参加

第3回ニュースポーツ大会が6月21日、志津南小学校体育館で開催され、雨にもかかわらず各町内から住民200人が参加しました。今年度は昨年度に引き続き、小学生の子どもから高齢の方々まで参加できるビーチボールバレーとデイスコンの2種目が行われました。

開会式に続き両種目の説明と簡単な練習の後、熱戦の火ぶたを切りました。デイスコンでは小学生の姿が多く見られ、小柄な選手が大人の中に混じってナイスプレーを連発するなど、目を見張る活躍ぶりでした。

優勝	若草2丁目
準優勝	若草6丁目
第3位	岡本町西
デイスコン	
優勝	若草1丁目
準優勝	若草3丁目
第3位	若草5丁目

スポレク祭に5チーム参加 残念ながら入賞逃がす

第12回草津市スポーツ・レクリエーション祭が6月14日、草津市野村運動公園グラウンドと同体育館で開催されました。晴天に恵まれたスポーツ日和のなか開会式が行われ、昨年ワントーナメントで第3位に入賞の若草八丁目がトロフィーを返したあと、各競技がスタートしました。

志津南からは、学区対抗の大縄跳びに子ども会の南風ジャンプグループ写真、ワントーナメントに若草五丁目、若草六丁目の2チームが、またベタンクには若寿会のなかよし、社会福祉協議会の一味クラブの2チームが参加して熱戦を繰り広げました。大縄跳びは、1チーム12名



若草連合が優勝

志津南地区社会福祉協議会の第8回町内対抗「囲碁ボール大会」が7月5日、志津南市民センターで開催されました。A・Bゾーン合わせて10チーム、老若男女51人が参加、フロアの碁盤に熱戦を展開しました。

優勝	若草4・7・8丁目連合
準優勝	若草5丁目
第3位	若草4丁目

(社会福祉協議会)

ワントーナメントは、1チーム5名の選手でトーナメント方式により1試合5回戦の合計点数を競うもので、五丁目と六丁目は2回戦から出場しましたが、五丁目は6対8で、また六丁目も延長戦までねばったものの10対11でそれぞれ敗れました。ベタンクは、1チーム6名がトーナメント方式で戦いました。一味クラブは1回戦を6対4で快勝しましたが、続く2回戦で3対5で惜敗しました。また、なかよしは3対7で1回戦敗退に終わりました。

子どもの苗スクスク

子ども会は昨年引き続き、今年も5月17日に、田んぼに苗を植えました。今年の田植えは昨年と異なり、若草4丁目児童公園のすぐ下の



田んぼで行いました。児童公園側の半分は、志津南小学校の5年生が植えました。逆側の半分を子ども会が植えました。写真(7月5日撮影)のように順調に育っています。苗の高さは、50センチ〜60センチぐらいになっています。子どもたちが植えましたので、密集しているところや、隙間が開いているところなどバラバラで、機械で植えていないことが、一目瞭然です。このまま順調に育ち、秋にたくさん収穫できるといいですね。

を送り会場は熱気にあふれました。

今回ご協力いただいた地域の皆さん、参加チームの皆さんありがとうございました。
(志津南地区体育振興会)



- 7月18日(土)
 - 健康ウォーキング
 - 8:15 若草中央公園集合
 - 7月22日(水)
 - やすらぎ学級「琵琶湖博物館」
 - 13:00~17:00
 - 7月25日(土)
 - 第12回ふれあい夏まつり
 - 17:00~21:00
 - 若草中央公園一帯
 - 社会奉仕
 - 8:15 若草中央公園集合
 - 7月28日(火)
 - 地域サロン: 懐メロを歌う会
 - 10:00~11:30
 - 教養文化講座「古今東西」
 - 9:00 志津南市民センター集合
 - 「飯室不動産」
 - 7月30日(木)
 - 家庭教育支援講座(第2回)
 - 「子育てママ応援隊」
 - 10:00~12:00
 - 8月1日(土)
 - 健康ウォーキング
 - 8:15 若草中央公園集合
 - 8月7日(金)
 - 定例健康相談日
 - 9:30~12:00 市健康推進課
 - ふれあい昼食会
 - 12:00~13:00
 - ボランティア「泉」
 - 8月8日(土)~9日(日)
 - 南っ子宿泊体験2009
 - 9:00~翌11:00
 - 地域協働合校・わんぱく南っ子
 - 8月11日(火)
 - 地域サロン: 懐メロを歌う会
 - 10:00~11:30
- 印の会場は志津南市民センター(公民館)です



ホタルに会いに行こう



飛び交う光に歓声 伯母川でホタル観察会

「わんぱくプラザ南っ子・地域協働合校」の恒例事業となった「ホタルに会いに行こう」が今年も6月13日、伯母川で行われ、小学生とその保護者、地域の協力者合わせて約80人が参加しました。

初めに市民センター(公民館)で「草津でホタルを楽しむ会」の鈴木道弘会長や菊池治徳さんから、ホタルについての話を聞いたり、同会の秋山さんによる手作り紙芝居やホタルのクイズを楽しんだあと、あたりが暗くなったら、近くの伯母川へ歩いて行き、川沿いにホタルの光をさがしました。



手話で「ふるさと」歌う

梅雨の晴れ間の6月24日、第3回やすらぎ学級の「手話で歌ってみよう」が開催され、手話サークル「びわ湖」の6人が講師を迎えました。

この日は、講師の自己紹介で、指文字や手話で「私の名前はです」と、名前と手指の動きが説明付きで披露されました。続いて「おはよう」「ありがとう」など、日常使うあいさつの動作を体験し、手話は動作だけでなく、顔の表情も大切なことを学びました。

次に、手話で「ふるさと」を歌うことにチャレンジ。歌詞に合わせた手話を繰り返し習って、暗かった周りをほのかに照らし、気持ちも明るくしてくれました。ホタルを初めて見る人も、何回目かの人のとつても、心なごむひとときでした。

一曲をマスターしました。「歌」と手話の同時は難しい」「ウサギの手話は覚えただけ」「頭の運動になったわ」など、感想はさまざまでした。

また、玄関チャイムやファツクスに着信を知らせ、振動を枕に伝えて目覚め時計にもなる「お知らせランプ」も紹介されました。

最後に、耳の不自由な方の体験で、子育て中に近所の方に助けてもらったことや、現在は活動を通してサークル「びわ湖」のメンバーに支えられていることなどを手話で熱く語っていました。

地区民生委員が受賞

滋賀県民生委員児童委員総会が6月4日、県立長寿福祉センターで開かれ、平成21年度優良民生委員児童委員協議会として志津南地区の長年にわたる地域福祉活動が認められ表彰を受けました。



7人の民生委員(うち2人は主任児童委員)は、今後さらに住民の皆さんのあらゆる相談に応じられるよう努め、日常の活動を通して健全な明るい地域社会づくりに努めます。

(民生委員児童委員協議会)

不用の入れ歯回収

草津市社会福祉協議会では作り変えて不用になった入れ歯の寄付を募っています。

入れ歯の金具に含まれている微量の貴金属を取り出し、その売却益を私たちの福祉や介護に役立てるといふものです。



専用の回収箱「写真」は志津南市民センターの玄関正面に設置されていますのでご協力ください。

サークル万歳

蒸し暑い梅雨のさなか、調整池に隣り合うテニスコートに乾いた打球音がこだまする。砂を入れた人工芝のコートには壮年、熟年の男女がダブルスで萌黄色のボールを打ち合っている。強烈なスマッシュも、ふわりと打ち返すロブショットもある。

グリーンヒルテニスクラブ（中西信五代表）の定例練習風景だ。同クラブは昭和59年、若草住宅団地の入居が始まったばかり、まだ瀬田駅へのバスも

梅雨空をはね返し練習に励むクラブ員たち



できた、数多あるサークルの草分けといっている。

クラブ結成のきっかけは、見ず知らずの入居者に出会いの場を提供、地域コミュニティづくりに一役買ってもらおうと飛鳥都市開発（当時）がCATVでテニスコート利用を呼びかけたことにある。これに応じた住民

心地よく響く打球音

グリーンヒルテニスクラブ

13人が一致して旗揚げを決めた。単に歴史が古いだけではない。発足後、間をおかず草津市テニス協会に加盟以後、同協会主催の選手権大会には毎年、シングル、ダブルス、混合ダブルスに出場、二

き活躍している若い人もいる。クラブに入って初めてラケットを握った人も多い。そうした人たちにはベテランがレッスンで手ほどきした。そんな一人、森田栄子さん（3丁目）は「仲間づくりができれば」と軟式テニスをしていたご主人の純三さんと一緒に入った。今では「おもしろくて楽しい。生活にメリハリがつき病気が知らず。80歳ぐらいいまではやりたい」と。市の大会にはダブルスや混合ダブルスに毎回出場、県のクラブ対抗戦でも活躍しているとか。また高校時代からテニスに親しんでいる朝野恵さん（3丁目）も「子育てのストレス解消、リラッ

クスできる。（テニスをすることが）本当に楽しみ」と笑う。春夏年2回、4チームに分かれてリーグ戦を行うクラブ大会のほか、懇親会やゴルフ、ハイキングなどコート外でもクラブ員相互の親睦を深めてきた。こうした活動が新しいサークルの誕生につながっていった。山登りの「山の会」、ゴルフの「グリーンクラブ」は、このテニスクラブが母体となったものだ。そんなクラブにも悩みはある。発足後二十数年を経てメンバーも年齢を重ね、故障を抱える人が増えて会員数が減少傾向にあることだ。「年間を通したコート利用を確保するためにも、またエネルギーシユな活動を維持していくためにも、新しい血」が加わってほしい」と話す前会長の大倉清廣さん（1丁目）の言葉が切実に聞こえる。

代表 中西信五
会員 50人
活動 土日祝日午前8時から午後1時、毎水曜日午後1時から同5時まで。
場所 飛鳥テニスコート
会費 月額2000円連絡先 中西代表
電話 (562) 12112、携帯 090 (3714) 2422

ラジオ体操に参加を

志津南小学校PTAは今年も夏休み期間中、各公園でラジオ体操を行います。地域のみならずご参加ください。若草中央公園では高齢者の方々も一緒にいきます。なお、各公園までの往復には保護者の方で安全確認を配慮していただくようお願いいたします。特に未就学児さんにつきましてはより一層の配慮をお願いいたします。日程は次の通りです。

日時 (前半) 7月21日

- (火) 7月31日(金) (後半) 8月24日(月)
- 8月31日(月)
- 時間 午前7時30分
- 場所
 - 若草東公園 1・2丁目・追分コートピア
 - 若草中央公園 3・4・5丁目
 - 若草西公園 6・7・8丁目
 - グリーンピア団地内公園 グリーンピア
 - 岡本西団地内公園 岡本町西



草津市は地球温暖化防止対策のひとつとして、市内の公共施設等で「ゴーヤ」の栽培に取り組んでいます。志津南市民センター（公民館）でも中庭で今年もゴーヤが黄色い花を咲かせました。

ゴーヤで涼しく

来館の折には、中庭のガラス越しに、ゴーヤカーテンのエコ効果と緑の癒しを実感してください。夏の日差しが強くなるにつれて、ゴーヤのカーテンが大きく広がってきています。(若草五丁目 T)